

## 学研災付帯学総（総合生活保険（こども総合補償））（補償の概要等）

補償の概要等は約款の概要をご紹介します。ご加入いただくタイプによっては保険金お支払いの対象とならない場合があります。ご加入のタイプの詳細については、パンフレット等をご確認ください。保険金支払の対象となっていない身体に生じた障害の影響等によって、保険金を支払うべきケガの程度が重大となった場合は、東京海上日動（以下「弊社」といいます。）、はその影響がなかったときに相当する金額をお支払いします。詳細は、パンフレット等記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

**注意！：以下に掲載の補償の概要は付帯学総でご加入いただける全ての補償を掲載しております。付帯学総は各大学ごとにご案内する補償プランの組み合わせが異なります。☑記載のある補償は加入プランによっては一部補償の選択ができないため、パンフレット記載の加入プランを併せてご確認ください。※付帯学総のパンフレットの加入プランに記載のない補償は選択できません。**

	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いしない主な場合
<p><b>傷害補償基本特約（全注）</b></p> <p><b>死・保険金</b> 事故の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合 ▶死亡・後遺障害保険金額の全額をお支払いします。 ※1 事故について、既に支払われた後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既に支払われた金額を差し引いた額をお支払いします。</p> <p><b>後遺障害者保険金</b> 事故の日からその日を含めて180日以内に身体に後遺障害が生じた場合 ▶後遺障害の程度に応じて死亡・後遺障害保険金額の4%～100%をお支払いします。 ※1 事故について死亡・後遺障害保険金額が限度となります。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>保険の対象となる方の故意または重大な過失によって生じたケガ</li> <li>保険金の受取人の故意または重大な過失によって生じたケガ（その方が受け取るべき金額部分）</li> <li>保険の対象となる方の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって生じたケガ</li> <li>無免許運転、酒気帯び運転をしている場合に生じたケガ</li> <li>脳疾患、疾病または心神喪失およびこれらによって生じたケガ</li> <li>妊娠、出産、早産または流産によって生じたケガ</li> <li>外科的手術等の医療処置（保険金が支払われるケガを治療する場合を除きます。）によって生じたケガ</li> <li>ピッケル等の登山用具を使用する山岳登山、ハンググライダー搭乗等の危険な運動等を行っている間に生じた事故によって生じたケガ</li> <li>オートバイ・自動車競争選手、自転車競争選手、猛獣取扱者、プロボクサー等の危険な職業に従事している間に生じた事故によって生じたケガ</li> <li>自動車等の乗用員による競技、試運転、競技場でのフリー走行等を行っている間に生じた事故によって生じたケガ</li> <li>むちうち症や腰痛等で、医学的他覚所見のないもの</li> </ul>
<p><b>医療費用補償特約（注2）＋特機期間の設定に関する特約医療費用補償用</b></p> <p>保険の対象となる方が病気やケガによって保険期間中に国内で入院または通院を開始した場合 ▶保険の対象となる方が負担した一部負担金*1をお支払いします。ただし、同一の病気やケガ（医学上重要な関係がある病気やケガを含みます。）による入院*2または通院*3について、入院または通院を開始した日からその日を含めて60日を経過した日の属する月の末日までの入院または通院の日からその日に限りです。 ※医師の処方箋に基づき、薬局（いわゆる院外薬局）で支払った薬代についてもお支払いの対象となります。 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。 ※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。 ※次のいずれかの給付等がある場合は、その額を保険の対象となる方が負担した額から差し引くものとし、 ●公的医療保険制度を定める法令により支払われるべき高額療養費 ●公的医療保険制度を定める法令の規定により、一部負担金を支払った保険の対象となる方に対して、その支払った一部負担金に相当する額の範囲内で行われるべき給付（いわゆる「附加給付」*4） ●保険の対象となる方が負担した一部負担金について第三者により支払われた損害賠償金 ●保険の対象となる方が被った損害を補てんするために行われたその他の給付（他の保険契約または共済契約により支払われた治療費用保険金に相当する保険金を除きます。）</p> <p>*1 公的医療保険制度における一部負担金、一部負担金に相当する費用、入院時の食事療養費または生活療養費に要した費用のうち食事療養標準負担額または生活療養標準負担額をいいます。事後に還付金が発生する場合は自己負担額から控除します。 *2 退院後、その日を含めて180日を経過した日の翌日以降に再入院した場合は、再入院は前の入院と異なるものとみなします。 *3 通院日からその日を含めて180日を経過した日の翌日以降に再度通院した場合は、後の通院は前の通院と異なるものとみなします。 *4 附加給付とは健康保険組合、各種共済組合等がその規約等で定めるところにより、一部負担金を支払った者に対し、その額の範囲内で支給する上乗せ給付をいいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた病気による入院または通院</li> <li>保険の対象となる方の故意または重大な過失によって生じた病気やケガによる入院または通院</li> <li>保険金の受取人の故意または重大な過失によって生じた病気やケガによる入院または通院（その方が受け取るべき金額部分）</li> <li>保険の対象となる方の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって生じた病気やケガによる入院または通院</li> <li>無免許運転、酒気帯び運転をしている場合に生じた病気やケガによる入院または通院</li> <li>保険の対象となる方が被った精神性障害、知的障害、人格障害、アルコール依存および薬物依存等の精神障害*1を原因として生じた入院または通院</li> <li>麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、危険ドラッグ、シンナー等の使用によって生じた病気やケガによる入院または通院</li> <li>先天性疾患による入院または通院</li> <li>妊娠または出産による入院または通院。ただし、「療養の給付」等の支払の対象となる場合は、この規定は適用しません。</li> <li>痔核、裂肛または痔瘻による入院または通院</li> <li>ピッケル等の登山用具を使用する山岳登山、ハンググライダー搭乗等の危険な運動等を行っている間に生じた事故によって生じたケガによる入院または通院</li> <li>自動車等の乗用員によって競技、試運転、競技場でのフリー走行等を行っている間に生じた事故によって生じたケガによる入院または通院</li> <li>歯科疾病の治療のための通院</li> <li>むちうち症や腰痛等で、医学的他覚所見のないものによる入院または通院</li> </ul> <p>*1 平成27年2月13日総務省告示第35号に定められた分類項目中の分類番号F00からF99に規定された内容に準拠します。 *2 平成27年2月13日総務省告示第35号に定められた分類項目中の分類番号Q00からQ99に規定された内容に準拠します。 *3 初年度契約の保険始期時点で、既に被っている病気やケガについても、初年度契約の保険始期日から1年（保険期間が1年を超えるご契約の場合は、2年となります。）を経過した後に開始した入院または通院については、保険金のお支払いの対象とします。</p>	
<p><b>個人賠償責任補償特約＋本人のみ補償特約（B）＋受託品等不担保特約</b></p> <p>国内外において以下のような事故により、他人にケガ等させたり、他人の財物（情報機器等に記録された情報を含みます。）*1を壊して法律上の損害賠償責任を負う場合 ●保険の対象となる学生本人の日常生活に起因する偶然的事故 ※学生本人の日常生活に起因する偶然的事故に関し、個人賠償責任の保険の対象となる方については、学生本人の親権者、その他の法定の監督義務者および代理監督義務者が賠償責任を負った場合も含みます。 ●保険の対象となる学生本人が居住に使用する住宅の所有、使用または管理に起因する偶然的事故 ※学生本人が居住に使用する住宅の所有・使用・管理に起因する偶然的事故に関し、個人賠償責任の保険の対象となる方については学生本人の親権者、その他の法定の監督義務者および代理監督義務者が賠償責任を負った場合も含みます。（代理監督義務者については、学生本人に関する事故に限ります。） ▶1 事故について保険金額*2を限度に保険金をお支払いします。 ※国内での事故（訴訟が国外の裁判所に提起された場合等を除きます。）に限り、示談交渉は原則として弊社が行います。 ※弊社との直接折衝について相手方の同意が得られない場合や保険の対象となる方に損害賠償責任がない場合等には、弊社は相手方との示談交渉はできませんのでご注意ください。 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。 ※記載した保険金以外に事故時に発生する様々な費用について保険金をお支払いする場合があります。 ※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。 *1 保険の対象となる方が国内で受託した財物（受託品）が、国内外での住宅内に保管または一時的に住宅外で管理されている間に損壊・盗取されたことにより、受託品について正当な権利を有する方に対して法律上の損害賠償責任を負う場合については、損害額（損害賠償責任の額）について保険金をお支払いします。ただし、損害額は損害額*3を限度とします。（受託品に係る賠償責任補償条項） なお、以下のものは補償の対象なりません。 ・自動車（ゴルフ・カートを含みます。）・自転車、船舶等 ・サーフボード、ラジコン模型 ・ドローン・携帯電話、スマートフォン、モバイルWi-Fiルーター等 ・コンタクトレンズ、眼鏡等 ・手形その他の有価証券等 ・クレジットカードや橋本、設計書、帳簿等 ・商品、製品や設備・什器（じゅうき） ・動物、植物等の生物 ・乗車券、通貨等 ・貴金属、宝石、美術品等</p> <p>*2 情報機器等に記録された情報の損壊に起因する損害賠償責任については、500万円が支払限度額となります。 *3 同じものを新たに購入するのに必要な金額から使用による消耗分を控除して算出した金額をいいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた病気による入院または通院</li> <li>保険の対象となる方の故意または重大な過失によって生じた病気やケガによる入院または通院</li> <li>保険金の受取人の故意または重大な過失によって生じた病気やケガによる入院または通院（その方が受け取るべき金額部分）</li> <li>保険の対象となる方の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって生じた病気やケガによる入院または通院</li> <li>無免許運転、酒気帯び運転をしている場合に生じた病気やケガによる入院または通院</li> <li>脳疾患、疾病または心神喪失およびこれらによって生じたケガによる入院または通院</li> <li>妊娠、出産、早産または流産によって生じたケガによる入院または通院</li> <li>外科的手術等の医療処置（保険金が支払われるケガを治療する場合を除きます。）によって生じたケガによる入院または通院</li> <li>ピッケル等の登山用具を使用する山岳登山、ハンググライダー搭乗等の危険な運動等を行っている間に生じた事故によって生じたケガによる入院または通院</li> <li>むちうち症や腰痛等で、医学的他覚所見のないものによる損害</li> <li>この契約が継続されてきた最初の保険契約（初年度契約といえます。）の保険始期時点で、既に被っている病気による入院*1</li> </ul> <p>*1 平成27年2月13日総務省告示第35号に定められた分類項目中の分類番号F00からF99に規定された内容に準拠します。 *2 平成27年2月13日総務省告示第35号に定められた分類項目中の分類番号Q00からQ99に規定された内容に準拠します。 *3 初年度契約の保険始期時点で、既に被っている病気やケガについても、初年度契約の保険始期日から1年（保険期間が1年を超えるご契約の場合は、2年となります。）を経過した後に開始した入院または通院については、保険金のお支払いの対象とします。</p>	
<p><b>救済者費用補償特約（注2）＋救済者費用不担保特約（医療費用補償用）</b></p> <p>国内外において保険期間中に生じた以下のような事由により、保険の対象となる方またはその親族等が捜索救助費用や現地へ赴くための交通費・宿泊料等を負担した場合 ●保険の対象となる方が搭乗している航空機・船舶が行方不明になったまたは保険の対象となる方が遭難した場合 ●急激かつ偶然な外来の事故により、保険の対象となる方の生死が確認できない場合または緊急の捜索・救助活動を要する状態になったことが公的機関により確認された場合 ●保険の対象となる方の居住に使用される住宅外において急激かつ偶然な外来の事故によるケガのため、保険の対象となる方が事故の日からその日を含めて180日以内に死亡または継続して3日以上入院した場合 ●疾病により死亡し、または保険期間中に発病した疾病のため継続して3日以上入院されたとき（ただし、責任期間中に入院を開始していた場合に限ります。）</p> <p>▶1 事故について保険金額を限度に保険金をお支払いします。 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。 ※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震・噴火またはこれらによる津波によって生じた病気による入院または通院</li> <li>保険の対象となる方の故意または重大な過失によって生じた病気やケガによる入院または通院</li> <li>保険金の受取人の故意または重大な過失によって生じた病気やケガによる入院または通院（その方が受け取るべき金額部分）</li> <li>保険の対象となる方の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって生じた病気やケガによる入院または通院</li> <li>無免許運転、酒気帯び運転をしている場合に生じた病気やケガによる入院または通院</li> <li>脳疾患、疾病または心神喪失およびこれらによって生じたケガによる入院または通院</li> <li>妊娠、出産、早産または流産によって生じたケガによる入院または通院</li> <li>外科的手術等の医療処置（保険金が支払われるケガを治療する場合を除きます。）によって生じたケガによる入院または通院</li> <li>ピッケル等の登山用具を使用する山岳登山、ハンググライダー搭乗等の危険な運動等を行っている間に生じた事故によって生じたケガによる入院または通院</li> <li>むちうち症や腰痛等で、医学的他覚所見のないものによる損害</li> <li>この契約が継続されてきた最初の保険契約（初年度契約といえます。）の保険始期時点で、既に被っている病気による入院*1</li> </ul> <p>*1 初年度契約の保険始期時点で、既に被っている病気についても、初年度契約の保険始期日から1年（保険期間が1年を超えるご契約の場合は、2年となります。）を経過した後に開始した入院については、保険金のお支払いの対象とします。</p>	
<p>(注1) 保険の対象となる方が在籍する学校の管理下*1外の急激かつ偶然な外来の事故によりケガ*2をした場合に保険金をお支払いします。 *1 学校の管理下とは、次に掲げる間をいいます。 ①学校等の正課中および学校行事に参加している間 ②学校の施設（寄宿舎を除きます。）内にいる間。ただし、学校等が禁じた時間もしば場所は使用する間または学校等が禁じた行為を行っている場合を除きます。 ③学校施設外で学校等に届け出た課外活動を行っている間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*2 ケガには、有毒ガスまたは有毒物質による急性中毒、細菌性食中毒およびウイルス性食中毒*3を含みます。なお、職業病、テニス肩のような急性性、偶然的、外来性のいずれかまたはすべてを欠くケースについては、保険金お支払いの対象となりませんのでご注意ください。</li> <li>*3 細菌性食中毒等補償特約が自動セットされます。</li> </ul> <p>(注2) 入院諸費用保険金および先進医療費用保険金不担保特約（医療費用補償用）がセットされています。</p>	

	保険金をお支払いする主な場合	保険金をお支払いしない主な場合
<p><b>育英費用補償特約</b></p> <p>扶養者*1が急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされ、事故の日からその日を含めて180日以内に死亡または重度後遺障害が生じ、保険の対象となる方が扶養者に扶養されなくなったことにより損害が生じた場合 ▶育英費用保険金額の全額をお支払いします。 (重度後遺障害の例) ●両目が失明したものの ●咀嚼くおよび言語の機能を喪失したものの ●神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を要するもの 等 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。 ※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。 *1 加入依頼書等に「保険の対象となる方の扶養者」として記載された方をいいます。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご契約者、保険の対象となる方または扶養者の故意または重大な過失によって生じたケガによる扶養不能状態</li> <li>保険金の受取人の故意または重大な過失によって生じたケガによる扶養不能状態（その方が受け取るべき金額部分）</li> <li>扶養者の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって生じたケガによる扶養不能状態</li> <li>扶養者が無免許運転、酒気帯び運転をしている場合に生じたケガによる扶養不能状態</li> <li>扶養者の脳疾患、疾病または心神喪失によって生じたケガによる扶養不能状態</li> <li>扶養者の妊娠、出産、早産または流産によって生じたケガによる扶養不能状態</li> <li>扶養者に対する外科的手術等の医療処置（保険金が支払われるケガを治療する場合を除きます。）によって生じたケガによる扶養不能状態</li> <li>むちうち症や腰痛等で、医学的他覚所見のないものによる扶養不能状態</li> <li>扶養者が扶養不能状態になったときに保険の対象となる方を扶養していない場合</li> </ul>
<p><b>学業費用補償特約</b></p> <p>扶養者*1が保険期間中に急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされ、事故の日からその日を含めて180日以内に死亡または重度後遺障害が生じ、保険の対象となる方が扶養者に扶養されなくなったことにより、支払対象期間*2中に学資費用*3を負担した場合 ▶支払対象期間中の支払年度ごとに学資費用保険金額を限度として、負担した学資費用の実額をお支払いします。 (重度後遺障害の例) ●両目が失明したものの ●咀嚼くおよび言語の機能を喪失したものの ●神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を要するもの 等 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。 ※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。 *1 加入依頼書等に「保険の対象となる方の扶養者」として記載された方をいいます。 *2 扶養者が扶養不能状態となった日の翌日から、契約により取り決めた学業費用支払終期までの期間をいいます。 *3 以下の費用をいいます。 ■授業料、教科書代、施設設備費、実験費、実習費、体育費、施設設備管理費等、学校*4の指示に基づいて学校*4に納付または業者から購入する、在学期間中に毎年必要となる費用 ■学校*4の指示に基づいて学校*4に納付または業者から購入する教材費*5 *4 学校教育法に基づく学校、児童福祉法に定める保育所、外国大学日本校等をいみます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>扶養者*1が、保険期間中に急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされ、事故の日からその日を含めて180日以内に死亡または重度後遺障害が生じ、保険の対象となる方が扶養者に扶養されなくなったことにより、支払対象期間*2中に学資費用*3を負担した場合</li> <li>▶支払対象期間中の支払年度ごとに学資費用保険金額を限度として、負担した学資費用の実額をお支払いします。</li> <li>※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。</li> <li>※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。</li> <li>*1 加入依頼書等に「保険の対象となる方の扶養者」として記載された方をいいます。</li> <li>*2 扶養者が扶養不能状態となった日の翌日から、契約により取り決めた学業費用支払終期までの期間をいいます。</li> <li>*3 以下の費用をいいます。 ■授業料、教科書代、施設設備費、実験費、実習費、体育費、施設設備管理費等、学校*4の指示に基づいて学校*4に納付または業者から購入する、在学期間中に毎年必要となる費用 ■学校*4の指示に基づいて学校*4に納付または業者から購入する教材費*5 *4 学校教育法に基づく学校、児童福祉法に定める保育所、外国大学日本校等をいみます。</li> <li>*5 制服代を含みます。</li> </ul>	
<p><b>疾病による学業費用補償特約</b></p> <p>扶養者*1が、保険期間中に病気により死亡され、保険の対象となる方が扶養者に扶養されなくなったことにより、支払対象期間*2中に学資費用*3を負担した場合 ▶支払対象期間中の支払年度ごとに疾病学資費用保険金額を限度として、負担した学資費用の実額をお支払いします。 ※他の保険契約または共済契約から保険金または共済金が支払われた場合には、保険金が差し引かれることがあります。 ※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。 *1 加入依頼書等に「保険の対象となる方の扶養者」として記載された方をいいます。 *2 扶養者が扶養不能状態となった日の翌日から、契約により取り決めた学業費用支払終期までの期間をいいます。 *3 以下の費用をいいます。 ■授業料、教科書代、施設設備費、実験費、実習費、体育費、施設設備管理費等、学校*4の指示に基づいて学校*4に納付または業者から購入する、在学期間中に毎年必要となる費用 ■学校*4の指示に基づいて学校*4に納付または業者から購入する教材費*5 *4 学校教育法に基づく学校、児童福祉法に定める保育所、外国大学日本校等をいみます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震・噴火またはこれらによる津波によって発病した病気による扶養不能状態*1</li> <li>ご契約者、保険の対象となる方または扶養者の故意または重大な過失によって発病した病気による扶養不能状態</li> <li>保険金の受取人の故意または重大な過失によって発病した病気による扶養不能状態（その方が受け取るべき金額部分）</li> <li>扶養者の闘争行為、自殺行為または犯罪行為によって発病した病気による扶養不能状態</li> <li>扶養者が無免許運転、酒気帯び運転をしている場合に発病した病気による扶養不能状態</li> <li>扶養者の脳疾患、疾病または心神喪失によって発病した病気による扶養不能状態</li> <li>麻薬、大麻、あへん、覚せい剤、危険ドラッグ、シンナー等の使用によって発病した病気による扶養不能状態</li> <li>むちうち症や腰痛等で、医学的他覚所見のないものによる扶養不能状態</li> <li>学業費用補償特約により保険金をお支払いするケガに起因する病気による扶養不能状態</li> <li>扶養者が扶養不能状態になったときに保険の対象となる方を扶養していない場合</li> <li>この保険契約が継続されてきた最初の保険契約（初年度契約といえます。）の保険始期時点で、既に被っている病気による扶養不能状態*2</li> </ul> <p>*1 該当した扶養者の増加が、この保険の計算の基礎に及ぼす影響が少ない場合は、その程度に応じ、保険金の全額をお支払いすることや、その金額を削減してお支払いすることがあります。 *2 初年度契約の保険始期時点で、既に被っている病気による扶養不能状態によって、初年度契約の保険始期日から1年（保険期間が1年を超えるご契約の場合は、2年となります。）を経過した後に扶養不能状態になったときは、保険金のお支払いの対象とします。</p>	

このパンフレットは総合生活保険（こども総合補償）の概要をご紹介します。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、パンフレット等記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

